

## 正見（正しく物事を見る）

私たちは、様々なものや事柄にとらわれて、物事を正しく見ると言  
うことが出来なくなっています。

私が小学校に入学する頃、祖母は還暦あたりでした。そして、その  
祖母は本当に年寄りに見えたものです。そして今、その頃の祖母の  
年をとっくに追い越している自分を見たとき、自分のことをそれほ  
ど年寄りと思っていません。

もちろん孫もおり、行政的には年齢一つとっても、もう年寄り  
なのでしょうが、まだまだ（自分では）若いと思ってしまうのです。  
だって、裏山を飼い犬と散歩していても、若いときと比べれば息が  
切れるものの十分歩ける。

でも、これが正しく物事が見えていない、ということなのでしょう  
ね。若いときと比べれば、といっている時点で、もう若くないと言  
っていることですし、息が切れるのも老いた証拠なのだと思います。  
でも、それを認めたくないために、まだまだ若いと思い込んでいる  
んでしょうか。

年齢を重ねるということは、本来悪いことじゃないと思うのです。  
若いときには見ることが出来なかつたことが、見えてくることもありますし、若いときは気づけなかつたに気づくことあるでしょうか  
ら。自分が歩んできた道のりをしっかりと見つめてみれば、今後の

道のりも見えてくるのではないか。どうか。